

# 血中高濃度 泣出た

「私の体と得体のしれないものが宿っている」

。東京都国分寺市の中村紘子さん（80）は、自身の血中から人体に有害な有機フッ素化合物PFA

AS（ピーファス）が高濃度で検出され、こう叫びました。世界でPFA

S規制の動きが強まる中、主要な汚染源の一つである米軍による応じるのか。日本政府の責任が問われています。

（小林司）

市民団体「多摩地域の有機フッ素化合物（PFA）S汚染を明らかにする会」は

1月30日、東京・多摩地域で取り組まれたPFA S血

PFA Sは環境中に分解されず人体に蓄積すること

## 追及

### PFA

有機フッ素化合物

が分かっており、「永遠の化学物質」と呼ばれています。米環境保護局（EPA）は、△低出生体重△子どもの発達の遅れ△腎臓がん△免疫低下△コレステロール値の上昇などのリスクを指摘しています。

多摩地域には豊富な地下

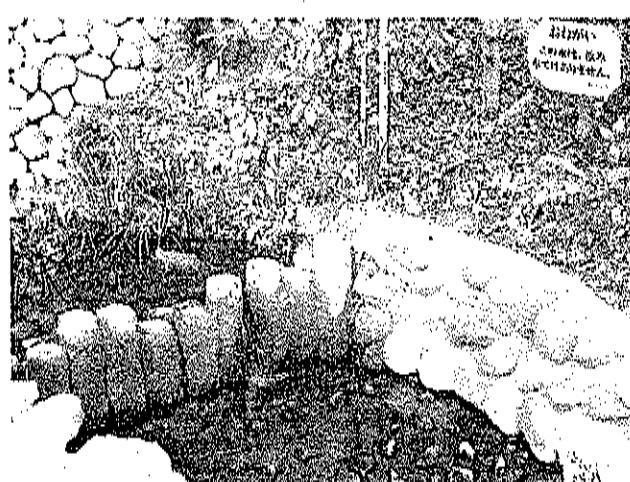
しかし、東京都水道局が公表した資料によると、国分寺市の東恋ヶ窪浄水所と府中武蔵台浄水所を含む三つの浄水施設ですべて停止し、八つの浄水施設で

同論文は、東京都を横断する多摩川で、PFA Sの一つであるPFOA（ピーフオ）の値が最高で1億あたり440倍（現在の暫定目標値の約9倍）検出され、その水には横田基地からの排水が含まれると述べています。

これを裏付けたのが、米軍による環境汚染を追及している英國人ジャーナリスト、ジョン・ミッチェル氏の調査でした。



PFA Sの血中濃度調査で行われた採血=21日、東京都府中市



お鷹の道・真姿の池湧水群の湧水=23日、東京都国分寺市

水が存在し、住民は飲料・農業用水として大切に守つてきました。飲用井戸水は今も一〇三七カ所存在しています。また、中村さんが住む国分寺市にも環境省が

年に現在の暫定目標値の1・58～2・8倍、府中武蔵

一部を停止しています。

### 横田基地の排水

・6～3・0倍検出されています。汚染源として、在日米

軍司令部が置かれる横田基地（福生市など5市1町）を初めて推定したのが、小泉昭夫・京都大教授（現・名譽教授）らが2005年11月に発表した論文です。同論文は、東京都を横断する多摩川で、PFA Sの一つであるPFOA（ピーフオ）の値が最高で1億あたり440倍（現在の暫定目標値の約9倍）検出され、その水には横田基地からの排水が含まれると述べています。

これを裏付けたのが、米軍による環境汚染を追及している英國人ジャーナリスト、ジョン・ミッチェル氏の調査でした。

（3面）

